

「学校・家庭・地域の絆を深める「大橋ふれあい運動会」

久留米市大橋校区まちづくり委員会
会長 秋永 幸

1. 事業名 学校・家庭・地域の絆を深める「大橋ふれあい運動会」
2. 目的 6年生が考えた「ふるさと大橋を、きずな、元気、やる気で盛り上げよう」を運動会スローガンに掲げ、学校・家庭・地域のふれあいを深める運動会とする
3. 事業の実施主体 大橋小学校・大橋校区まちづくり委員会
4. 地域の概要

大橋町は久留米市の東部に位置し純農業地帯であり、世帯数は685世帯で久留米市全46校区中6番目に小さい校区である。

大橋校区の人口構成 (久留米市住民基本台帳：10月1日現在)

| 0～14歳 | 15～29歳 | 30～44歳 | 45～59歳 | 60～74歳 | 75歳以上 | 合計 |
|-------|--------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 191 | 298 | 300 | 356 | 484 | 352 | 1,981 |

65歳以上人口は661人で33.37%を占める。高齢化率は、市内3番目である。

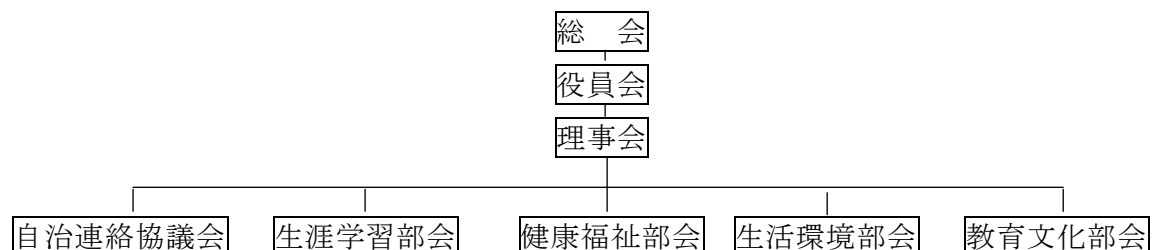
小学校の学年別児童数 (10月1日現在)

| 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 合計 |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 5 | 7 | 14 | 20 | 10 | 16 | 72 |

25年度に校区外から通学できる小規模特認校制度が市内3小学校に導入され、当小学校もその1校である。26年度転入生8名を迎えることができた。

5. 連携・協力機関・団体等
小学校PTA・小学校子ども会育成連合会・久留米市消防団第22分団
6. 実施に至る経過

大橋校区まちづくり委員会組織図



地域の連帯と住民の体力増進をめざし、平成24年度まで36回を数える「大橋校区体育大会」を開催してきた。しかし、24年度当初部会会議の中で、高齢化により体育大会の選手選考が困難であるから今後の方向性を組織討議してほしい旨意見が提出された。これを踏まえて地域の各部会等での議論や小学校校長先生、教頭先生との意見交流を重ねた結果、選手選考の

問題よりもっと本質的な「地域の子どもは地域で育てる」という基本理念に基づき、地域と小学校が共同で取り組んでいく協働実践が、将来の大橋校区の在り方を形成していくはずであるという共通理解ができた。

そこで、平成25年3月の合同校区委員会（80名参加）を開催した。この会議では、学校・地域・家庭が連携して、ふれあい・絆を大切にすまちづくりをし、大橋町を活性化することが大切だと合意した。そして、同じ地域に住む自分たちが、お互いに助け合い、喜び合える仲間意識を強め、地域の連帯感を高めるためにも「大橋ふれあい運動会」を成功させようという考えで一致した。

このことを受け、小学校・PTA役員会・体育委員会・まちづくり委員会で、児童・保護者・地域が「ふれあいや絆を深め、参加者の体力維持、向上を図る具体的な取り組み」を協議し、綿密な計画を立て、成功させることができた。

7. プログラム作成の視点

①小学校の授業として行う「団体競技・走・表現」種目、②地域独自で行う久留米オリンピックに繋がる対抗種目と演技種目、③小学校児童と地域が一緒に行う種目の三種類に分類した。また、高学年が学級会で、ふれあい運動会のスローガンを考え地域に提案した。同時に、児童と地域が一緒に行う種目については、子どもたちが「総合的な学習の時間等」で考えたり、案内状やポスターを作成したりして「ふるさと大橋を愛する心」を育み、「地域の絆」を深める取り組みができるようにした。

8. 事業の内容

- ・平成25年9月29日（日）午前9時 開会式 ～ 閉会式終了は午後3時20分
- ・児童と地域が一緒に行ったプログラムの一部（全24種目）

| 順 | 種目 | 演技名 | 出演者 |
|----|------|----------|-----------------------|
| 3 | 団体競技 | 親子の絆 | 6年、保護者 |
| 5 | 団体競技 | 絆リレー | 4・5・6年、地域全48名 |
| 8 | 団体競技 | 大玉はこび | 1・2・3年、地域全16名 |
| 10 | 走 | ここまでおいで | 来年就学児 |
| 11 | 団体競技 | 玉入れ | 1・2・3年、幼児、地域60歳以上全40名 |
| 14 | 演技 | 実践操法 | 久留米市消防団第22分団 |
| 18 | 演技 | 借り人競争 | PTA会員、地域全8名 |
| 21 | 表現 | シャルウィダンス | 全児童、保護者、地域含め全約150名 |

9. 事業の成果

参加者・観覧者で800名を超える運動会が終了し、小学校から「運動会のご感想をひとことお願いいたします」というチラシを保護者や地域の方々へ依頼配付された。その結果100名近くのコメントが回収できた。ここでは、その一部を原文のまま紹介する。

- ① 初めての地域合同のふれあい運動会。地域、小学校と一体になってすごく良い運動会だったと思います。他地域の方々も来ておられ暖かい運動会だねえと言っていました。初めてのことで準備など大変だったかと思えます。お世話の皆様ご苦労様でした。
- ② 今年初めての合同の運動会、すごくよかったです。組体操なんかも地域の方から「がんばれー」と励まされたり、子供達にとっても見せ場ができてよかったです。地域の方

も小さい子のダンス、リレーを見て心が癒されたことだと思います。本当に良かったです。

- ③ 3学年合同になったので、4年生からの組体操を心配していましたが、一生懸命頑張っていて見ている側も感動しました。地域も一緒だったため親の競技を応援できたり従来のものより、大変盛り上がっていてよかったと思いました。先生方も大変お疲れ様でした。
- ④ 4年から6年の表現、組体操をよく頑張っていました。衣装もかっこよかったです。子供は絆リレーが楽しかったと言っていました。昨年と比べると競技の数が減ったので子供はもう少し出たかったと言っていました。地域の方（年配の方）と一緒にできる競技をもっと入れたらいいと思います。初めての取り組みで先生方も大変だったと思います。お疲れ様でした。ありがとうございました。
- ⑤ 今年は地域との共催の運動会で活気があり子供達も沢山の方に見てもらえ、やりがいのある運動会だったと思います。親としてはゆっくり子供の演技など見たかったのですが、地域の競技にも出る為あわただしくきつかったです。
- ⑥ 近年は児童数が減って地域のテントも寂しい感じになっていましたが、今年は人も多く賑やかでとても良かったです。「大人も子供もここにいるみんながニコニコして楽しそう。こんな雰囲気運動会初めて・すごくいい・羨ましい」と他の地区から見に来ていた人が言っていました。子供たちは一人一人がしっかり頑張っていてそれを応援する地域の人の眼差しはとても暖かくてすてきな運動会でした。我が子も初めて会う地域の人と手を繋ぎ一緒に競技を楽しんでいてそれを見てとても嬉しかったです。久しぶりに小学校の運動会に参加した地域の方も楽しかったと言っていました。準備から当日まで大変お疲れ様でした。来年度校区外から通う児童も一緒に楽しめたらさらに嬉しいです。

10. 今後の課題

- ①開催時期の問題。大橋校区は純農業地域であるから、農繁期を外す必要がある。早い時期に実施時期を協議決定する必要がある。
- ②雨天の場合の開催要領。従前までは地域は中止。小学校は翌日順延(月曜日)になるので、地域の対応が難しい。

11. その他の学社連携活動

- ① 大橋再発見ウォーク：先人が築いた文化遺産に関心を持ち、学び、故郷に対する愛着、誇りを体得する。各種団体で実行委員会を構成し実施。今年度20回目を終えた。
- ② 稲作体験活動：JA青年部の指導の下、箱苗作り、田植え、収穫作業を行う。
- ③ 招待給食：小学校主催で、見守り隊の方を招待し児童と一緒に給食を頂く。
- ④ 昔遊び体験：老人会から児童に昔の遊びを体験させる。
- ⑤ ふれあいもちつき大会：JA青年部、保護者の協力を得て体験。
- ⑥ ふれあい鑑賞会：文化事業として主に音楽生演奏を地域と一緒に鑑賞。
- ⑦ 認知症サポーター研修会：児童と地域と一緒に認知症の基礎知識を学ぶ。

12. 問い合わせ先

〒839-0832 久留米市大橋町合衆314-1

大橋校区コミュニティセンター TEL0942-47-1916

〒839-0832 久留米市大橋町合衆1081

久留米市立大橋小学校 TEL0942-47-0069